



研究者名※	山口 俊雄 YAMAGUCHI Toshio	学位※	博士(文学)
所属※	文学部 日本文学科	職名※	教授
連絡先	yamaguchit@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/yamaguchit		
研究分野※	日本文学 近代文学 現代文学 小説		
研究キーワード※	石川淳 太宰治 無頼派 新戯作派 小説 評論・エッセイ 出版・メディア		
共同研究・競争的 資金等の研究課題			
社会貢献・産学官 連携活動等	荻窪文学講座（NPO法人杉並文化の会）講師（2016年より）		
受賞歴			

研究領域	文学研究	(SDGs)
研究テーマ※	小説研究 石川淳 太宰治 無頼派 新戯作派 出版・メディア	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>●1930年代にデビューした石川淳や太宰治を中心に、広く近代文学を同時代の諸言説・諸事象との関係の中で読み、その歴史性の解明を試みている。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>●知的な享楽のメディアとしての文学の比重は軽くなる一方だが、文学的なものは、サブカルチャーほか、むしろ他分野に拡散しているとも見られる。諸分野・諸メディアにおける文学性を探るという観点も、今後はますます必要となってゆくのではないだろうか。</p> <p>【研究方法の特色】</p> <p>●文学作品を、言葉によって生み出された自立的・自立的な小宇宙と捉え、作品精読を通じてその宇宙の仕組みの解明を目指すと同時に、作品が発表された同時代の諸言説・諸事象との関係の中で読み、その歴史性の解明をも試み、文学作品を総合的に理解しようと努めている点。</p> <p>●文学作品が、言葉による〈虚構〉として生み出された点を重視し、その作品が、作品外の現実との関係においてどのようなタイプの虚構なのかの解明を試みている点。</p>	
本研究関連 特許・論文等	<p>・『最後の文人 石川淳の世界』集英社(集英社新書) 2021年4月</p> <p>・『太宰治をおもしろく読む方法』風媒社 2006年9月</p>	
共同研究・外部機関 との連携への期待	<p>・文学作品を地誌・地理性との関係で考究する共同研究</p> <p>・世田谷文学館所蔵の石川淳の日記の解読・考察</p>	